

2 0 2 4 年度事業報告書

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

一般財団法人日本財団DIVERSITY IN THE ARTS

目次

I.	総括		1
II.	実施事業の概要		1
	A.	情報発信事業	
	B.	多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業	
	C.	歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業	
	D.	障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催	
	E.	障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業（まぜこぜアートスクール）	
III.	管理業務報告		6
	A.	評議員・役員に関する事項	
	B.	評議員会・理事会開催	
	C.	職員およびシステムについて	

2024年度事業報告書

I. 総括

当財団は、2016年8月に「日本財団 TOKYO 展 2020」（任意団体）として設立し、同年10月3日に一般財団法人に移行した。2017年4月11日には、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより促進させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることとし、名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」（略称：DArts）に変更した。

一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS への移行から8年目にあたる2024年度は、以下の事業を実施した。

- A. 情報発信事業
- B. 多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業
- C. 歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業
- D. 障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催
- E. 障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業（まぜこぜアートスクール）

II. 実施事業の概要

A. 情報発信事業

- (1) 情報発信戦略の見直し及び多くの人へ当財団が実施する全ての事業内容とその成果を届けるための事業立案の考え方を共有するため、業務委託による外部アドバイザーからの支援を得て、全職員が参加する形で計8回（延べ16時間）の勉強会を実施（2024年8月～9月）。情報発信の戦略について、SNSの運用をより強化することで、コンテンツを作って待つのではなく、当財団のウェブサイトへの訪問者を迎えに行く方針・体制案を新たに策定した。（10月）
- (2) 上記により策定した新たな情報発信戦略に基づき、既存のSNSの統廃合を順次実施し、フォロワー数が最多だった True Colors Festival 2022 の公式 X アカウントを、当財団公式 X アカウントとしてリニューアルし、運用を再開（12月）した。それによりフォロワー数は順調に増加しその推移は以下のとおり。

DArts 公式 X フォロワー数

2024年12月1日時点 36,677人

2025年3月31日時点 45,930人 （前回比9,253人増、25.23%増）

さらに、YouTube 掲載用の動画を 4 本撮影し編集を行った（2025 年 3 月）。これら 4 本の動画は 2025 年 4 月～5 月に順次公開予定。

B. 多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業

(1) True Colors DANCE WORKSHOP TOUR 2025 事業

時 期 2025 年 3 月～2025 年 4 月

※日本財団に事業期間の延長を申請・承認を受け、2024 年度事業として実施した。

場 所 東京都、札幌市、大阪市、名古屋市、福岡市

対象者 障害の有無を問わずダンスに関心がある小学生以上

参加者 5 都市計 353 名（障害あり 133 名、なし 220 名）

内 容 障害のある・ないインストラクターがチームを組み、ダンス経験の有無や障害の有無・種別を問わずに、ダンスを通じてまぜこぜになる体験を提供するワークショップを実施。障害の有無にかかわらず、ダンスに興味のある人や経験者の発掘や、障害の有無を超えてダンスを学べる場をつくる際の課題の抽出を行った。

(2) パラサポ連携企画：「インクルーシブ・南中ソーラン節」の開発

[モデル校の運動会での実演]

時 期 2024 年 10 月 6 日(日)

場 所 府中市立府中第十小学校、白糸台小学校

参加者 第十小学校 4 年生(121 人)、白糸台小学校 5 年生(80 人)、
府中けやきの森学園児童生徒(5 人)

内 容 障害の有無・種別に関わらず参加し、楽しむことができる「インクルーシブ運動会」の新たな演目として、障害インクルーシブな南中ソーラン節を開発。府中市内の 2 校の学校で先行して実演をすることで、その後、全国の学校に普及させていく上での課題を抽出した。

[教員向け動画・教材の開発]

時 期 2024 年 12 月～2025 年 3 月

場 所 日本体育大学世田谷キャンパス記念講堂

参加者 障害がある・ない小学生計 25 名

内 容 インクルーシブ南中ソーラン節に関心を持った教員向けに、振り付けやさまざまな障害種別に対応するための工夫をわかりやすく伝達し、学校で教えられるようにする動画教材を制作した。しかし、南中ソーラン節の振付の開発者との関係を考慮し、当人とのやりとりを経て、動画については公開しない方針とした。今後は、パラサポが南中ソーラン節の振付の開発者と連携をし

て改めて様々な障害種別に対応できる振付を開発して展開をしていく見込みである。

(3) True Colors SPECIAL LIVE 2025(仮称)事業

「QQQ 音とことばの音楽祭」として計画・準備を進めたが、2024 年 12 月に中止を決定した。

内 容 障害のあるアーティストと、姿を見せずに活動しているアーティストの多様なコラボレーションのステージを届けると共に、アクセシビリティの工夫によって障害があっても観客として楽しむことができるコンサートとして開催準備を実施した。制作・運営全般を委託した株式会社電通の業務が遅れ、特にキャスティングの遅延が協賛獲得やチケット販売にも影響を及ぼしたため、「適切なチケット料金を設定し、協賛企業獲得のための活動も行うことで、多くの人に支えられるコンサートを目指すための第一歩とする」という目標の達成が困難になったことから、やむなく 2024 年 12 月 4 日付で中止を決定した。なお、経緯を踏まえ、中止決定までにかかった一切の費用は株式会社電通が負担することとなった。

当初は、2025 年 1 月 5 日に横浜 BUNTAI に於いて 4,000 人規模のコンサートの開催を想定していた。

(4) 海外連携可能性調査

シンガポール国際芸術祭におけるダンス公演「COLONY -A True Colors Project-」の実施

公演予定日 2025 年 5 月 30 日(金)午後 8 時から

5 月 31 日(土)午後 8 時から

6 月 1 日(日)午後 3 時から

場 所 Drama Centre Singapore (シンガポール) 予定

内 容 現地協力者主導で、在シンガポールの団体からも資金提供をいただき、公演を共催することができないかを模索した結果、シンガポール国際芸術祭の一環として、同芸術祭主催団体の Arts House Limited と共催でダンス公演を実施する運びとなった。2024 年度は上述の公演予定日に向けて、現地制作者と企画について協議を行い、障害のある日本人ダンサー 2 名の紹介や日本人ダンサーがプロジェクトに参画するためのサポートを行った。

(5) 効果検証に関する調査

大学生が制作・運営に参加する True Colors の演劇公演及び効果検証の実施

時 期 2024 年 8 月 14 日～18 日 (計 7 回公演)

効果検証調査 2024 年 8 月～2025 年 2 月

会 場 六行会ホール (東京都品川区)

鑑賞者 698 人

内 容 大学生・院生がプロの演劇制作チームと共に障害のない・ある演者が共演する演劇作品「True Colors THEATER 坂道 79 年目の夏」の制作・運営を行った。東京大学・井筒節准教授が中心となって演劇作品制作における多様性包摂のプロセスや、それを実現するためのチェックリストの作成、作品制作に参画した学生・関係者の意識変化を検証した報告書を制作した。

C. 歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業

(1) 巡回展開催へ向けた企画準備事業

時 期 2024 年 7 月～2025 年 3 月

関係者 北海道立函館美術館、滋賀県立美術館、沖縄県立博物館・美術館他

内 容 巡回展開催に向けた企画会議、関係各所との調整を行った。

(2) 巡回展開催予定美術館との協力ワークショップ事業

時 期 2025 年 3 月 11 日(火)午後、12 日(水)午後

場 所 函館市

参加者 函館美術館職員、ボランティア、学生、当事者団体等 35 名

内 容 障害のある方と接する機会の少ない美術館関係者やボランティアスタッフ、近隣の学校関係者と当事者の方を交えた学びの場を開催した。1 日目は視覚障害者、2 日目は聴覚障害者を交えた場として、相互に学び合う場として開催した。

(3) 2025 年度巡回展開催に向けた作品や什器の輸送業務準備事業

時 期 2024 年 12 月～2025 年 3 月

内 容 2025 年度に「つくる冒険展」を函館と沖縄にて巡回展として開催するため、必要な輸送業務の整理・調整などの準備を行った。

D. 障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催

(1) True Colors Festival SPECIAL CONCERT 2025 の開催準備

時 期 2024 年 11 月～2025 年 3 月

内 容 2025 年 12 月に The Valuable 500、日本経済新聞社、日本財団が共同で開催する国際会議「SYNC25 アカウンタビリティ・サミット」に合わせて、同会議が終了する 2025 年 12 月 4 日に、同会議参加者を対象としてコンサートを開催するための準備を行った。会場の調査を行い、大本山増上寺大殿（東京都港区）を利用することとし、利用の申し入れを行った他、制作会社を決定し、プランニングに着手した。

E. 障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業（まぜこぜアートスクール）

(1) 障害のあるアーティストによる出前授業の実施

時 期 2025 年 1 月～2025 年 2 月

場 所 調布市：滝坂小学校・染地小学校・国領小学校、
横浜市：あざみ野第一小学校 計 4 校

参加者 483 人（生徒・教員・保護者含む）

内 容 障害のあるアーティストによる出前授業を実施した。講師による多様な表現手段を講義やデモンストレーションを交えて示した後、生徒が参加するワークショップを行い、障害や多様性について新たな視点を提供し、共生社会について生徒が主体的に考え始めるきっかけを提供した。

(2) 調査・計画・広報策定

時 期 2024 年 11 月～2025 年 3 月

場 所 事務局、関東近郊 他

参加者 アーティスト、学校・教育委員会など関連機関、官公庁関連機関、子ども向けワークショップ事業者、広報関係事業実施者 他

内 容 2025 年度以降の本格的実施に向けて、2024 年度は試験的に実施し、類似事業実施者 2 組にヒアリングを行い、実施体制や運営方法などについて知見を得た。学校に派遣するアーティスト候補の調査（8 名＋2 か所）を行った上で、各アーティストに事業内容の説明・実施に向けた打ち合わせを行った。調布市、横浜市の教育委員会と関係構築を行い、2024 年度の実施と 2025 年度以降の継続実施を依頼し、計画策定を進行した。2025 年度以降の広報ツール開発にむけて、編集者と広報計画方針の策定を行った。

III. 管理業務報告

A. 評議員・役員に関する事項

(1) 評議員

吉倉和宏 2024年6月20日再任 日本財団常務理事
菅井明則 2024年6月20日再任 日本財団パラスポーツサポートセンター常務理事
相澤佳余 2024年6月20日就任 ニッポンドットコム常務理事

(2) 理事

前田 晃(理事長) 2024年6月20日就任 日本海事科学振興財団会長
小澤 直 2024年6月20日再任 日本財団パラスポーツサポートセンター常務理事
菅原悟志 2024年6月20日再任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

(3) 監事

山田恵一郎 2024年6月20日再任 笹川平和財団総務部特任調査役

以上 2025年3月31日現在

B. 評議員会・理事会開催

(1) 理事会

第20回理事会

開催日 2024年4月27日

開催場所 書面表決

審議事項

- 1) True Colors Festival 持続可能なコンサートの企画・運営等業務担当業者の決定について

第21回理事会

開催日 2024年6月6日

開催場所 日本財団ビル2階第7会議室

審議事項

- 1) 2023年度事業報告書案承認の件
- 2) 2023年度決算報告書案承認の件
- 3) 評議員会開催の件

第22回理事会

開催日 2024年6月20日

開催場所 日本財団ビル2階第6会議室

審議事項

- 1) 理事長の選任について
- 2) 2024 年度事業計画・予算の変更について
- 3) 就業規則の一部変更について

第 23 回理事会

開催日 2024 年 7 月 12 日

開催場所 書面表決

審議事項

- 1) 「True Colors THEATER」舞台公演の制作・実施業務に係る業務委託契約の締結について

第 24 回理事会

開催日 2024 年 10 月 2 日

開催場所 日本財団ビル 2 階第 2 会議室

審議事項

- 1) 経理規程の制定・施行について
- 2) 契約規程の制定・施行について
- 3) 職員慶弔見舞金規程の制定・施行について
- 4) 2024 年度事業計画及び収支予算の変更について

第 25 回理事会

開催日 2024 年 10 月 25 日

開催場所 書面表決

審議事項

- 1) TCF SPECIAL CONCERT2025（仮称）の企画・制作・運営等業務に係る指名型企画競争の実施について
- 2) SNS 運用（デジタルコンテンツ制作）の業務委託契約について

第 26 回理事会

開催日 2024 年 12 月 17 日

開催場所 書面表決

審議事項

- 1) シンガポール国際芸術祭におけるダンス公演の共催について
- 2) シンガポール国際芸術祭におけるダンス公演制作の業務委託契約について（Passion & Purpose Asia）

第 27 回理事会

開催日 2025 年 2 月 26 日

開催場所 日本財団ビル 2 階第 5 会議室

審議事項

- 1) 巡回展の作品輸送及び展示業務に関する業務委託契約について
- 2) 巡回展の什器等輸送業務に関する業務委託契約について
- 3) True Colors Festival SPECIAL CONCERT 2025 の制作運営等業務の業者選定の結果及び契約について

- 4) True Colors DANCE 全国ワークショップの実施に係る業務委託契約について
- 5) 2024 年度の True Colors Festival のコンサートの中止及び株式会社電通との契約解約について

第 28 回理事会

開催日 2025 年 3 月 24 日

開催場所 日本財団ビル 8 階第 804 会議室

審議事項

- 1) 2025 年度事業計画・収支予算案について
- 2) SNS 運用(デジタルコンテンツ制作)の業務委託契約について
- 3) 2024 年度の事業執行状況について
- 4) 総合戦略アドバイザー契約について(株)DAYS)

(2) 評議員会

第 9 回評議員会

開催日 2024 年 6 月 20 日

開催場所 日本財団ビル 2 階第 6 会議室

審議事項

- 1) 2023 年度事業報告書案承認の件
- 2) 2023 年度決算報告書案承認の件
- 3) 評議員、理事、監事の選任について

C. 職員およびシステムについて

- (1) 新規職員 2 名(事業部 チーフ・プログラム・ディレクター、管理部 副部長)を雇用開始(2024 年 4 月、2025 年 1 月)。
2025 年 3 月 31 日現在の職員数 10 名(内 1 名は日本財団からの出向)
- (2) 勤怠管理、経費精算、稟議システムを含めた業務基幹システムとして、(株)COEL が提供する「manage」を導入した。検討・トライアル(2024 年 4 月～6 月)期間を経て、2024 年 7 月から実務における運用を開始した。

以上

